令和3年度 豊明市福祉有償運送運営協議会 議事要旨

- ◇日 時 令和3年11月16日(火) 午後2:00~3:05
- ◇場 所 豊明市保健センター 3階 講義室
- ◇出席者 樋口恵一、本田有、加藤充子、石川優、竹中暢康(代理)、伊藤正弘、近藤有紀子
- ◇欠席者 田中英雄、森紫歩
- ◇申請団体 特定非営利活動法人くるみの会 佐藤花織
- ◇事務局 浅井俊一、松村清子、夏目和茂 (以上、敬省略)
- ◇傍聴者 無し
- ◇議 題 (1) 豊明市における移動制約者の状況等について
(2) 運送団体における福祉有償運送の現状と輸送実績の報告について
(3) 豊明市福祉有償運送運営協議会の書面会議実施要領について

議題に入る前に

- 1 委員9名のうち7名出席のため会議は成立する事を報告。
- 2 地域福祉関係者として選任している委員の変更を報告。

議 題

(1) 豊明市における移動制約者の状況等について

事務局より、豊明市における移動制約者の概数・豊明市における交通機関の状況・豊明市における移動支援に関する福祉サービスについて、その概要や現況を説明する。

質疑・応答等

タクシー協会の代表委員：

ちゃっとによる輸送サービスの対象者は誰か。また運輸支局に相談して行なっているか。

事務局：高齢者及び障がい者を対象としており、主に病院受診や買い物など生活支援として移動を伴う支援をしている。運輸支局に確認して行なっている訳ではないが、国交省発行のハンドブックを参考に確認している。

タクシー協会の代表委員：

生活の中の助け合いとして行なっているが輸送がメインになる可能性もぬぐえず、そうなると本来の主旨から外れるので運輸支局には確認すべきと考える。安全性についてどのように考えるかということもあるので、行政として安全対策は取られるとよいのではないか。

会 長：今の意見は、実運用のところで運転手の安全管理はしっかりできてるかという問題提起を含めた意見であると思う。他市では国交省認定の安全運転管理講習などを行政サポートのもと受講させているが、この協議会でもそれは重要な要素だと認識している。

もう一点、ちゃっとについて福祉的な仕組みとしては良いが、対象と範囲が資料からは読み取りにくい。全市的に広がりを見せていく仕組みなのか、特定の地域だけに根付いていくものなのかを聞かせていただきたい。

事務局：展開としては市内全域である。対象者は高齢者と障がい者である。

会 長：対象が高齢者全体となると、移動の観点では問題となる。タクシーなどの他の移動手段もある中で、ちゃっとの利用が優先される懸念あり。市としては公共交通全体の融合について考えていただくとよい。

事務局：ちゃっとに関しては月一回会議を開催し、移送対象者については生活支援が必要な方という点を押さえ常に確認している。

タクシー協会の代表委員：

ちゃっとと福祉有償運送などお互いの目的をしっかりとっておかないと足の引っ張り合いになりかねない。チョイソコやタクシーその他の公共交通を含めて、全体が整合性を取り総合的に考えていく事が重要である。

住民の代表委員：

困っている方をちゃっとを使って乗せていく場合、事故にあった時の保証はあるのか。

事務局：のってって号という車があり保険に加入している。

住民の代表委員：

その運転手に資格はあるのか。

事務局：正式な資格というものはない。はっきりとした取り決めとしては75歳未満でゴールド免許取得者である。今後は安全運転管理者講習の受講も検討しなければならないと考える。

会長：豊明市には移動に係る支援メニューが豊富だが、ちゃっとに関してはその他の移送サービスとの整合性が保たれる総合的な仕組みづくりとなる事が求められる。しかしながら高齢者や障がい者が増えている事もあるので、福祉有償運送の必要性はあるという事でよろしいか。

採 決

議題（１）豊明市の福祉有償運送の必要性については異議のある委員はおらず、協議は調った事として採決された。

（２）運送団体における福祉有償運送の現状と輸送実績の報告について

くるみの会より福祉有償運送の変更内容、運行管理の体制、従事する運転者の一覧、福祉有償運送運行記録について説明する。

質疑・応答等

タクシー運転者が組織する団体の代表委員：

申請時の協議会で、ワンコインの対価でくるみの会が福祉有償運送として持続可能なのかと問うたが、地域生活支援事業との併用で何とかなるという事だった。また希望者が増えた場合はその時に区間料金設定を考えるという事だったがこの考えは変わらないか。

また保護者へは就学奨励費が返金されるか。そしてくるみの会としては収入はないが大丈夫か。

運送団体：車いすを作ったから病院へ行くのに福祉有償運送を利用したいと要望があるので、区間料金設定が必要かもしれないという議論を法人内でもしている。

タクシー運転者が組織する団体の代表委員：

現状福祉有償運送を進めている中でそのような変化があるなら、報告し

たり相談しないとくるみの会が苦しくなる。持続可能な状態で運営していけるよう皆で知恵を出し合って考えていきたいので、是非この協議会などにご相談いただきたい。

会 長：このままくるみの会だけが頑張るのは忍びないので、距離換算に応じた料金設定を考えた方がいいと思う。この後すぐという訳にはいかないが、今回はそのような議論を行うと良いかと思う。

タクシー協会の代表委員：

違和感ある点を申し上げる。現在くるみの会で行なっている移送は 港区への送迎に限定しているため、本来の福祉有償運送の目的とは少し違う。移送における幅広い希望に沿うべきである。他の希望があれば受け入れられる体制を整えて、福祉タクシーでは間に合わない人たちを助けて欲しい。

市職員代表委員：かつて豊明市には福祉有償運送の事業者がなく東郷町のそれを利用していましたが最近やめたと聞いている。一方で障害児支援のニーズは広がっていくと予想されるためくるみの会の負担は重くなる。従って料金体系の見直しを考えられるとともに、地域の他のサービス事業所へくるみの会の取り組みを紹介していただき事業者が増えるようにしていただくと良い。

運送団体：医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が9月に施行されたのを受け、上限の16回が今後増える事が予想される。同乗者も看護師の他ヘルパーで対応しようとしているが、今後この辺りの協議もお願いしたい。学校も週2、3回しかできなかったケアが、11月からは週5で看護師が見るといいうように変わる。

(3) 豊明市福祉有償運送運営協議会の書面会議実施要領について

事務局より運営協議会の書面評決について、実施要領の内容を説明する。

質疑・応答等

会 長：書面会議で実施していく事は恒久的なのか。

事務局：対面での会議が難しい状況が続くような場合に、書面での評決ができ

るようにするだけである。

タクシー協会の代表委員：w e b では難しいのか。

事務局：今はw e b 行うルールが明確になっていない。しかし併用は可能だと思われるので今後整理していきたい。

会 長：では運営協議会の書面会議については、実施要領案の通りとしてよろしいかお諮りしたい。

採 決

議題（３）豊明市福祉有償運送運営協議会の書面会議実施要領については一同賛成のため、協議は調った事として採決された。

そ の 他

事務局より道路交通法に基づく安全運転管理者の選任と、くるみの会が法律を遵守し安全運転管理者を置いている事を確認している旨を報告。

会 長：現在この協議会は必要性を含めた福祉有償運送の全体を協議しているが、協議会で審議した必要性については公共交通会議の中でも共有し、より整合性や連携の取れたものにしていくと良いと思われる。

事務局：現状は公共交通会議と連携している訳ではないので、今後調整していきたいと考える。